

平成29年11月17日
九州地方整備局
福岡国道事務所

新しい浦島橋うらしまばしが平成29年度中に完成します

- 矢部川に架かる国道208号浦島橋うらしまばしは、昭和31年に架設されてから60年以上経過し、橋の損傷や老朽化が著しい状態です。また、車道幅員が狭く、前後の区間に歩道がないなど交通安全上の課題もあります。
- 福岡国道事務所は、平成30年度の完成を目標に平成20年度より新しい橋への架替工事を進めてきました。今般、出水期での施工を可能とする架設工法等を導入することにより、平成29年度中に新しい浦島橋が完成し通行できる見通しとなりました。
- 現在、橋梁部の床版設置工事や前後区間の舗装工事に着手しており、今後、浦島橋架設完了後、舗装工事を進めていく予定です。
- 今回の開通により、より安全な橋へと生まれ変わるだけでなく、浦島橋を利用する車両や、歩行者、並びに自転車利用者に対して安全で快適な道路空間が確保されます。

問い合わせ先：

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所

技術副所長 横山 浩よこやま ひろし TEL:092-681-4731 (代表)

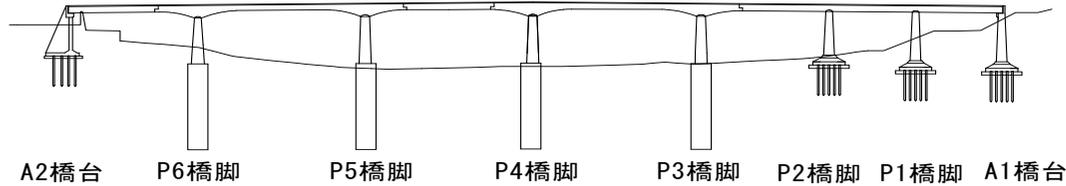
道路保全課長 樋口 洋一ひぐち よういち TEL:092-682-7756 (道路保全課・直通)

E-mail: fukkoku@qsr.mlit.go.jp URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>

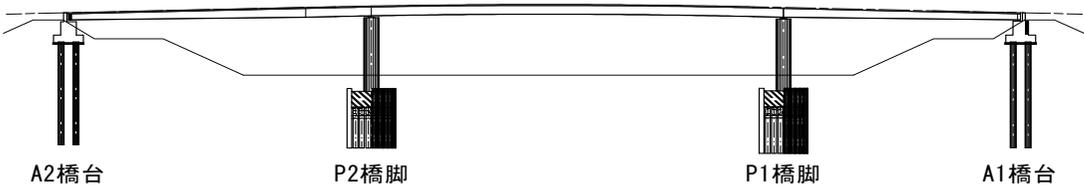
国道208号 浦島橋架替事業

【橋梁側面図】

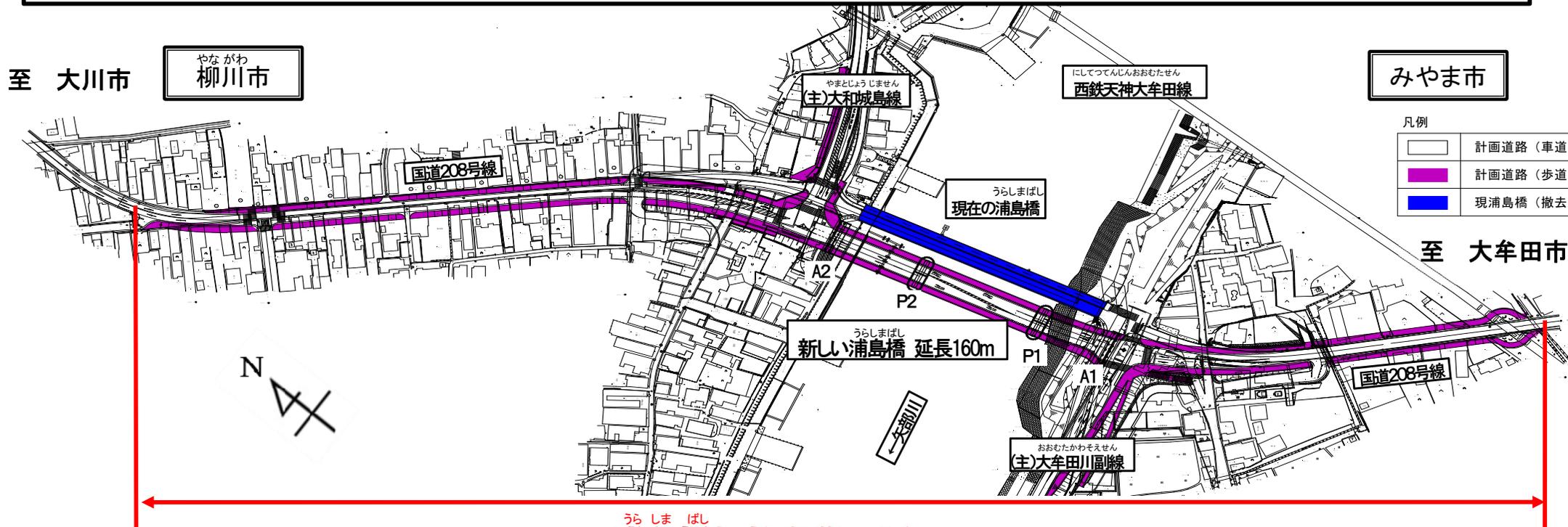
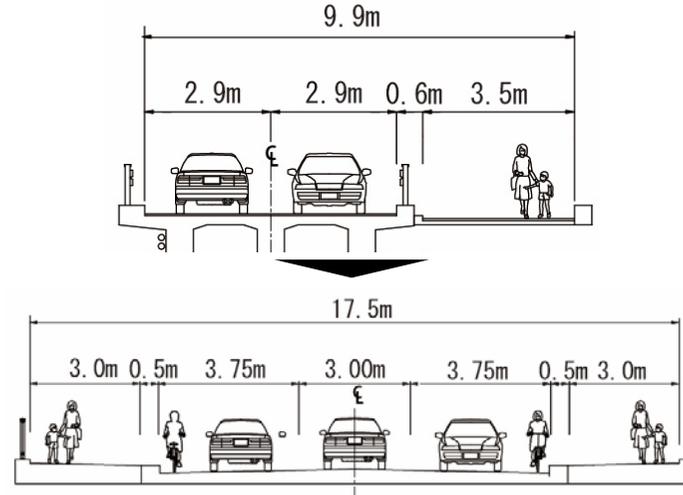
(現在の浦島橋) 橋脚6本



(新しい浦島橋) 橋脚2本



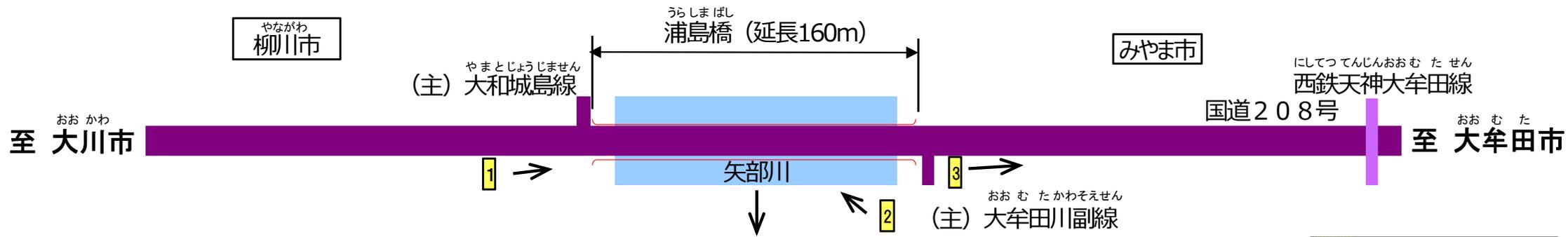
【橋梁横断図】



うらしま ばし 浦島橋架替事業 延長730m

新橋切替予定：平成30年度から平成29年度中に前倒し

うらしまばし
浦島橋架替事業 工事進捗状況(平成29年10月19日現在)



番号 は写真と撮影方向を示す
 写真は平成29年10月撮影

やながわ 柳川市側 舗装工事の状況



うらしまばし しょうばん 浦島橋 床版設置の状況



みやま市側 舗装工事の状況



おむた 至 大牟田市

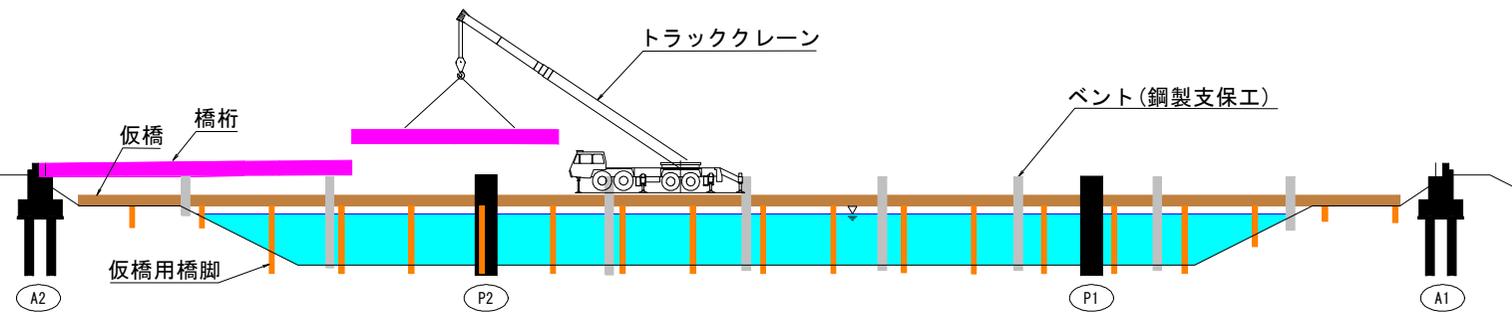
出水期での施工を可能とする架設工法の導入

- 当初、一般的なクレーン架設での工法を検討していたが、矢部川内での施工が伴う工法であり川の流れを阻害するため、出水期(6月～9月)の施工においては、工事工程が著しく制限される。
- 川の流れを阻害しない工法を採用するには、橋桁を組み立てる広い施工ヤードが必要となるが、^{おくりだし}地元の協力が得られ施工ヤードの確保ができたため、川の流れに影響を与えない送出工法の採用が可能となった。

クレーン架設工法(トラッククレーンベント架設工法)



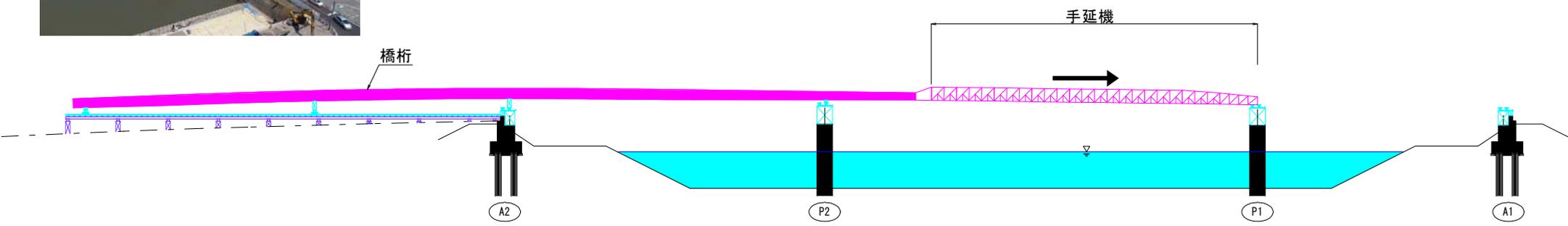
クレーン架設では、仮橋が必要となり、多数の仮橋用橋脚や橋梁を支える、ベントが川の流れを阻害。



^{おくりだし}送出工法(手延式送出架設工法)



^{おくりだし}送出架設では、施工ヤードで橋桁を組み立て手延機を先端につけて橋桁を送り出すために川の流れに影響を与えない。



安全で快適な道路空間の構築

○緊急輸送道路としての機能が向上され、大型車のスムーズな離合が可能になるとともに歩行者や自転車の利用者が安全で快適に利用できる道路空間が確保されます。

第一次緊急輸送道路として通行可能

昭和31年に架設されて以来60年余り経過しており、橋の損傷が激しく、老朽化が進んでいます。



安全で快適な道路空間の確保

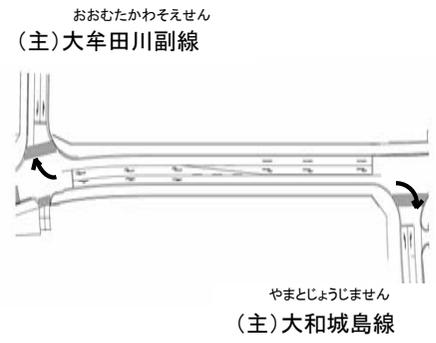
幅員が狭く大型車の離合が危険な状況にあり、交通の支障となっています。

歩道が整備されておらず安心な通行空間の確保ができていません。



○橋梁上に右折レーンを新たに設置し、直進車への支障を緩和します。

○車道幅員が広がり、大型車の安全な離合が可能になるとともに、両側に歩道等を設置することで歩行者・自転車にとって安全・安心な空間になります。



矢羽根イメージ